ライオンズクラブ国際協会
336－A地区 2R4Z

西条

2013−2014
12
No. 438

SAIJO LIONS CLUB

Topics

２リジョン親善スポーツ大会参加報告
第２６回 国際平和ポスターコンテスト
東予 LC 認証５０周年記念大会

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会会長　バリー・J・パーマー

テーマ　夢を追いかけよう

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー　松 前 龍 宗

スローガン　ときめく　明日へ　WE　SERVE

キーワード　「真価発揮」

2013-2014 年度　2R4Z　西条ライオンズクラブ会長　原　育 雄

スローガン　人と大地に優しく　W E　S E R V E

冬期YCE派遣生紹介

2013/12/20　～　2014/01/10　　派遣先：イタリア

高橋顕典さん　19 才

Hello.
My name is Akinori Takahashi
I am very glad that I can go to Italy.
However, I am slightly anxious because it is the first foreign countries
English is not proud, too, but wants to study it by departure.

My hometown is Saijo City, Ehime Prefecture in Shikoku.
Nagatomo of the Intel club is from the same town.
I'm study business administration now at a university of Kyoto.
The university that I am attending is far away from my hometown, so I live alone.

My family was parents and grandparents, eight people of three older sisters in total,
Two older sister is a married now.
Another older sister is a university student and lives in Kobe City, Hyogo Prefecture.
So, in the hometown, there are parents and both grandparents.
Because there are not children in a house, they seem to be slightly lonely.

I played baseball from when I was in elementary school till when I was in middle school.
Therefore the sports like doing that I look.
I like basketball in particular, soccer.
I go to watch club team exercise and a game well.

I interchange with various people positively carefully
and, by this dispatch, want to utilize challenge mind effectively.
I make use of having learned there if I come back to Japan
and want to make one's future clear.
I think of this training that one's thing I want to do should be
a good chance to be found.
Thank you for your cooperation.

Sincerely Yours

２R親善スポーツ大会

開催日時：2013 年 11 月 2 日（土）於～今治市菊間総合対区間（緑の広場運動公園）アリーナ

西条 A チームキャプテン　安藤憲正

９月５日、レクバレーの練習がスタート。昨年同様やる気満々のメンバーが集合した。
毎年思うことだが、練習の励みになるのは、一緒に練習してくれるミルキーの人たちの明るい笑い声や黄色い歓声である。メンバーの珍プレーに即座に反応する声援は、ミスしたプレーを次へとつなぐパワーを与えてくれる。練習に参加するメンバー誰しもが感じている事、感謝している事ではないだろうか。自分のプレーが次の人につながる。つながったボールは何としても相手のコートに返そうとする。ぎりぎり返球されたボールは、不思議と相手の不意を突き得点になる。本番でのラリーや粘りは、こうした練習から生まれたものと思う。
１１月２日、大会の会場は菊間総合体育館。入り口に設置された鬼瓦は巨大で、私など一飲みにされそうな威圧感がある。しかし周囲の斜面には、食べごろのミカンが黄色い笑顔で私達を歓迎してくれていた。
Ｂチームの初戦開始。応援団が拍手で盛り上げラリーが続く。奮起を促す声援にニヤリと答える選手がサーブでポイントを連取する姿には、余裕さえ感じられた。
Ａチームの第２戦目、第３セット１２対１４、相手に一点も与えられない絶体絶命の場面、次の一点に全神経を集中「どんなボールも拾える。相手コートに返せる。」全員の顔に決意がみなぎり、ひときわ大きな応援団の声と共に“３点連取”し勝利した。
昨年まで西条の団旗を振っていた団長の分まで、故障者の無念の分まで、カバーし力を合わせて戦う。こんな良いチームは他にないと、毎年のことながら今年もまた自慢したい気持ちになった。

会場がどこになろうとも、毎年応援に駆けつけてくれる方々があってこその、西条準優勝！
今年もいい笑顔！いただきました。お疲れ様でした。

青少年育成事業

第26回国際平和ポスターコンテスト

テーマ　「　私たちの世界、私たちの未来　」

青少年指導委員会委員長　植木光夫

「国際平和ポスターコンテスト」も今年で２６回目、近年応募作品数に伸び悩んでいましたが、今年は偶然にも２６回目に２６作品もの多数の応募がありました。ただ、残念なことに文字が入ったり、切り貼りの規格外の作品が多数でありました。その中から最優秀作品一点、優秀作品七点を選び、参加賞も全員に例年よりちょっと良いものにしたので、来年からは更に応募作品も増えてくると期待します。また、今回は西条市図書館にお願いし、応募作品を展示しました。期間は 11 月 20 日から 12 月 11 日まで、土日も変わらず開館しているので、平日に見に行けないという方々にも足を運んでもらえると思います。クラブにて審査の結果、下記の作品が入賞致しましたことをご報告します。

【　国際平和ポスター展覧会　】

【 神拝小学校での表彰式　2013／11／6(水) 】

最優秀賞

神拝小６年　　八塚咲輝さん

小さな芽が大きく育つように、地球に平和が広がっていって欲しいということを絵に描きました。

神拝小６年

西垣梨々花さん

私は１学期に平和学習を行って、平和の大切さや戦争の悲惨さを学びました。だから１人１人が優しさをもって世界が平和で美しいものになるように、このポスターを描きました。戦争で被爆された方々にこの折鶴が届くよう、核兵器が「０」になって平和を実現できる事を願っています。

優秀賞

神拝小６年　原田彩加さん

世界中の人々がいつもいつも楽しく（Happy）仲良くすることが平和につながると思い、世界中の人々が笑顔であることを願ってこのポスターを描きました。

神拝小５年　菅野華音さん

私は、世界中に戦争が二度とおきないように願って描きました。

神拝小６年　金田修児さん

僕は全世界がいつか一つになることを願って描きました。世界から戦争がなくなって国境がなくなり、世界が一つになって平和になれるように思いを込めて描きました。

神拝小５年　清水翔太さん

僕は今も世界のどこかで戦争や争いがある事をニュースなどで知って悲しく思いました。だから世界中のみんなの未来が、人のやさしさや、ぬくもりで溢れて欲しいから描きました。

神拝小６年　大本朝彩さん

私が平和について考えたことは、世界中の人がみんな笑顔でいられて、戦争など人が亡くなるような事が起こらない事が平和だと思います。たくさんの人がいつも笑顔を心がけたりする事は平和への第一歩になると思います。

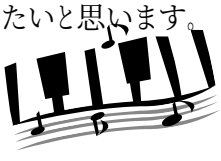
神拝小５年　森下伊吹希さん

みんなが一つになって欲しいという思いでポスターを描きました。

南三陸町復興支援事業　～遠藤ピアノ教室　遠藤水華里先生からお便りが届きました～

南三陸からの定期便です。先週、愛媛からの御一行様を迎えて、子供たちと交流していただきました。保護者の方たちが、鮭汁、イクラ丼、生のカキ、ホタテやカキの炭火焼き、ムール貝の茹でたものなどを、食べながら、楽しく遊びました。いつか皆様とも、交流できたらいいなぁと思いました(^-^)
それから昨日のピアノコンクール東北大会では、須藤ほの香ちゃんが、敢闘賞をいただきました。
みんなでメトロノームを、お守りのように持ってました。被災してから2年8ヶ月すぎても、教室環境、レッスン環境は劣悪です。むしろ劣化してる感じもあります。狭い仮設住宅で、練習するのも、家族、近所に気兼ねしながらする事が、多くなりました。相変わらず、先の見えない日々の中で、子供たちの事だけは、前に進めてやらなければいけないと、痛感してます。

優勝して、皆さんを喜ばせたかったのですが、敢闘賞でした。
次回は、生徒共々、さらに精進して、いい結果をだしたいと思います。



ありがとうございました。

東予ライオンズクラブ認証50周年記念式典に参加して

ライオン・テーマー　花山志郎

東予ライオンズクラブ認証５０周年式典に、原会長をはじめ、西条ライオンズクラブから１９名で参加しました。当日は、天候も２リジョン晴れで暖かく、式典日和でした。
式典はホテルユニバースで近藤祐二郎大会委員長の歓迎挨拶に始まり、東予ライオンズのこれまでの５０周年にわたる活動を振り返るとともに、次の時代に向けて新たなる出発を誓うため「Fresh start & New beginning さぁ はじめよう！」を大会スローガンに掲げられていました。松前龍宗３３６－A 地区ガバナーに来賓祝辞を頂きました。
次に、佐伯勉会長から、スポンサークラブへ感謝状並びに記念品「杵」を原会長に贈呈して頂きました。祝宴は、関野邦夫実行委員長　開宴の辞・神野顕彰３３６－A 地区　2R４Z　ZC の祝杯の音頭で始まり、道前太鼓・佐藤公平記念事業委員長の認証５０周年記念ゴルフ大会表彰、そして「レイモンド・松屋ショー」では大変盛り上がりました。
ブラザークラブ東予ライオンズクラブの「お・も・て・な・し」には十分満足させて頂きました。
そして、近藤祐二郎さんから「西条ライオンズクラブの全員登録に大変感謝しております。」の言葉を頂きました。　「さぁ　はじめよう！」

レーモンド松屋ステージで
会場は大盛り上がり

東予 LC より記念品として
餅つきの杵をいただきました。
我がクラブのアクティビティーで
大いに活躍することでしょう

編 集 後 記

早いもので師走を迎えました。師走の語源とは諸説あるようですが、師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す（しはす）」が有力とのこと。皆さんも夜な夜な忙しく西条の町を東西に馳せ“おもてなし”満載の忘年会に参加、おいしいお酒を飲むのは“今でしょう”とばかりに深酒、酩酊し、翌朝おいしかったお酒からの二日酔いという“倍返し”の洗礼を受けないようくれぐれもお身体にお気をつけください。　“じぇじぇじぇ”

PR・広報委員　野間賢次郎

発行者　会　長　原　育雄
幹　事　高橋雅顕
ＰＲ・広報委員長　村瀬文隆
編集委員　明比紳一郎・塩出正照・國田経仁・合田直司
野間賢次郎・伊藤隆治・伊藤　稔

例会日　毎月　第２・第４火曜日（12：30～13：30）
例会場　西条国際ホテル
発　行　西条ライオンズクラブ事務局
印　刷　プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ
〒793－0030　愛媛県西条市大町 771－1
西条国際ホテル1 F
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
E－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ　http://saijo-lions.org